

歯科診療所の感染予防策

新型コロナ第二波に備えるコラム【3】

今回は武内歯科医院の感染症対策を紹介します。歯科での感染リスクが心配との報道がありましたが、コロナ感染例は全国で現在まで一例もありません。

一昔前は感染症を持っている人を区別し、診療台や器具を消毒していました。

しかし現在は誰もが感染している前提で感染予防策を施しています。

これは**スタンダードプリコーション（標準予防策）**といわれ、**医療機器の滅菌・消毒、使い捨て手袋の個人毎の交換**などはもはや常識です。特に口内を吸引するバキュームの他に、患者さんの**周囲のエアゾルを強力に吸引するハイテク装備（口腔外バキューム）**が、すべての診療台に設置されています。

診療室の空気は特に環境衛生学的配慮にて通常より広いスペースと天井に埋め込んだ医療用フィルターで毎時78リットルの空気を清浄化し、強力な換気扇が診療区域の空気を排気しています。

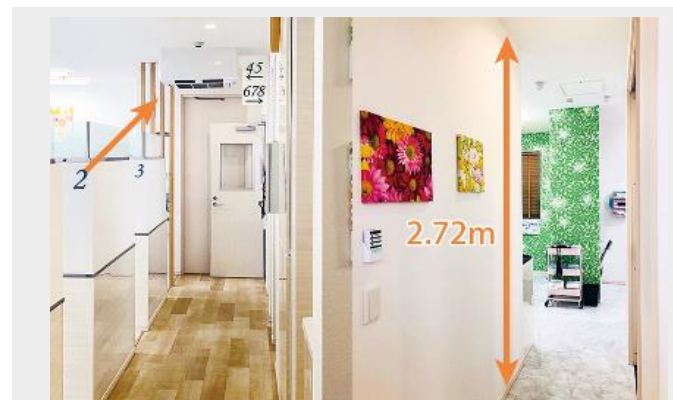
新型コロナ、インフルエンザにも対応できます。そのほか呼び出しベルで2F待合室や車中で待機できる工夫で3密を回避しています。

当院は厚労省から感染症対策の非常に高い基準(外来診療環境体制)を得た特殊な歯科医療機関(県下25%に該当)です。

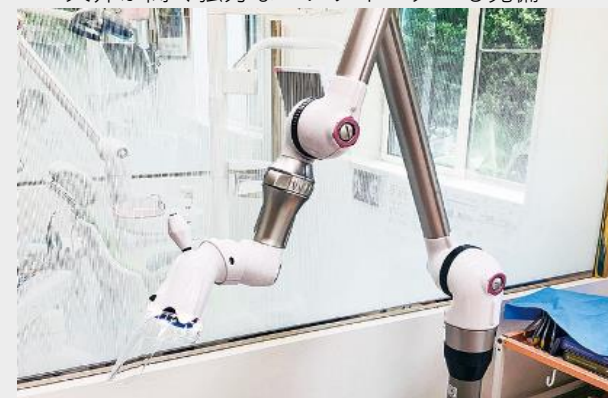
また、日本環境感染学会・CDC(米国疾病センター)の感染対策基準に準じて運用されています。安心して受診してください。

(医学博士 武内博朗)

タウンニュース(海老名・座間・綾瀬版) 2020年7月31日号 掲載



天井が高く強力なエアフィルターも完備



周囲の飛沫を吸引するバキュームを全診療台に配備